

With You さいたま

ウイズユー

Contents

女性の貧困問題支援事業の御案内	P.4
「女性の貧困」について考える本	P.4
相談室より ひとりで悩まないで…	P.4
Women 現代の吟子たちに聞く 井原愛子さん	P.5
第14回 さいたま輝き荻野吟子賞受賞候補者募集	P.5
With You さいたま イベントカレンダー	P.6

7月号
2018
JULY

特集 P.2-3

女性の貧困 を考える



「With You さいたま」は、
埼玉県の男女共同参画社会づくりのための
総合拠点施設です。

女性の貧困を考える

雇用されて働いている女性の約2人に1人が非正規雇用です。その中で、単身女性やシングルマザーなど経済的に厳しい状況に置かれている女性も少なくありません。「女性の貧困」は、性別役割分業や性差別に基づく社会の仕組みと深く結びつく女性の人権問題です。そこで、今回は、「女性の貧困」について取り上げ、現状と課題を考えます。

女性の貧困という課題

「女性の貧困」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか。シングルマザーや単身の高齢女性、また、若年女性が困難な状況にあることを思い浮かべられるかも知れません。経済的に頼れる人がいない状況の女性が、貧困になりやすいことは想像できると思います。

しかし、女性の貧困の課題を、女性の経済的自立という課題に置き換えてみると、この問題は、もう少し普遍的な課題であることが見えてきます。

例えば、埼玉県は、女性雇用者に占めるパート・アルバイトの割合が全国で最も高く、派遣社員や契約社員などを含めると、62.7%が非正規雇用です(厚生労働省「就業構造基本調査」平成24年)。国の労働力調査では女性雇用者の55.5%が非正規雇用で働いているというデータがあります。年齢階級別に見ても、若い世代から3割を超え、年齢とともに非正規雇用の割合が上がっています(グラフ①参照)。

働いて収入を得ることは、豊かな暮らしにつながる生活基盤のひとつですが、非正規雇用は賃金が低く、雇用が不安定なため、経済的自立という点からは課題が多い状況です。現に、非正規雇用で働く女性の8割以上は、年収200万円未満となっています(グラフ②参照)。また、正規雇用の仕事がないことが主な理由で、非正規雇用で働く「本意非正規」の女性は、139万人にのぼっています。これは男性の134万人を上回っており、本意非正規雇用の半数以上を女性が占めている現状があります。(総務省「労働力調査(詳細集計)」平成29年)



女性の貧困の背景

女性の経済的な自立が難しいことは、以前からわかっていたことですが、長らく問題とされてきませんでした。それはなぜでしょうか。

「男性は賃労働で家族を養い、女性は家事・育児で家庭を支える」という性別役割分業に基づく社会制度により、「男性稼ぎ主」による扶養が前提で、女性は経済的に自立する必要はないとされてきたからだと言えるでしょう。

実家暮らしの未婚女性は父親に、そして結婚後は夫に扶養されることが女性の標準コースで、働いても、パート・アルバイトなどの低賃金の就業のみ。そうした「男性稼ぎ主」を成り立たせる背景に、家庭では、女性たちの家事・育児などの労働が、職場では、長時間労働が常の男性中心型労働慣行が続いてきたのです。そして、その労働現場では、セクシュアル・ハラスメントや、マタニティ・ハラスメントなどの深刻な問題も起きてきました。グラフ③を見ると、セクシュアル・ハラスメントなど、男女雇用機会均等法に関する相談件数は2万件を超えて推移しており、女性が安心して働く環境が整ってこなかった状況が見えてきます。

また、シングルマザーや単身女性たちの課題も深刻です。最近の調査では、非正規雇用で働く単身の女性の28.4%が年収150万円未満で暮らし、82.4%の人が「収入が少ない」ことに不安を覚え、59.4%が「雇用の継続」についての悩みを抱えていることが明らかになりました。(出典：(公財)横浜市男女共同参画推進協会「非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査」平成28年)

女性の貧困の解消へ向けて

貧困の問題は、人権の問題に直結します。DVなどの問題があっても、経済力がない女性は、「家に留まる」以外の選択肢が見えにくい状況に置かれます。また、経済的な困難は、人間関係からの疎外をもたらします。それらが、個人個人の自尊心を低めることにもつながるのです。貧困は、単に経済的な困難以上に、一人ひとりの生きる力を奪っているのです。

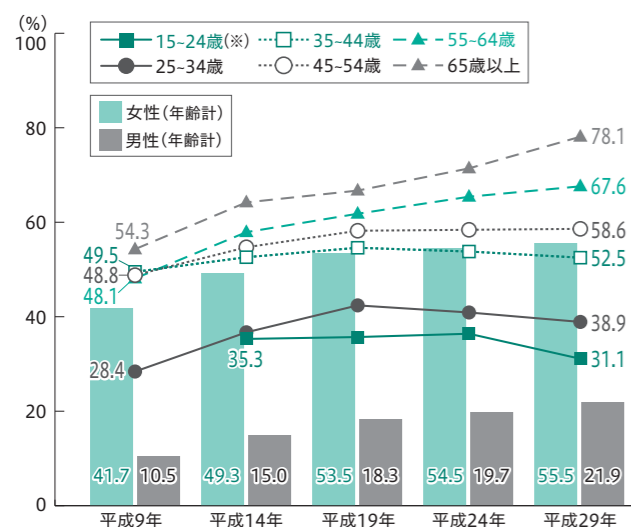
では女性の貧困の解決にはどんな取組が必要でしょうか。まず、現に貧困に直面する女性に対する支援が必要です。そして、長期的には、女性の貧困をもたらしている今の社会の仕組みそのものを変えていく取組が求められます。

埼玉県男女共同参画推進センターでは、2018年度、女性の貧困問題解消に向け、様々な事業に取り組みます。その一つが、働きづらさを抱える若年無業女性やシングルマザー等への就業自立支援です。また、同時に、固定的性別役割分業等女性が貧困に陥りやすい現在の社会の在り方を理解し、その課題解決に取り組む地域の人を育てる「女性リーダー育成講座」も行います。(右ページ上段参照)

このような取組を多くの方と手を携えて行うことで、埼玉県男女共同参画推進センターは、女性が「個人」として生きられる社会づくりを目指します。

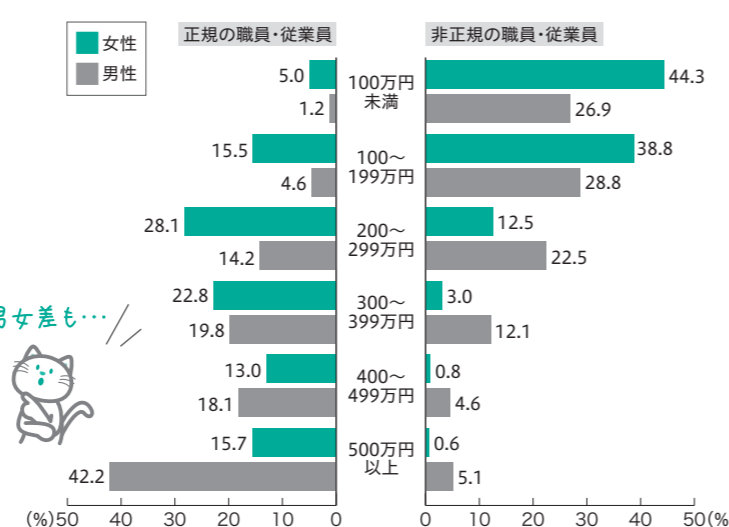


グラフ① 年齢階級別非正規雇用の割合の推移(女性)



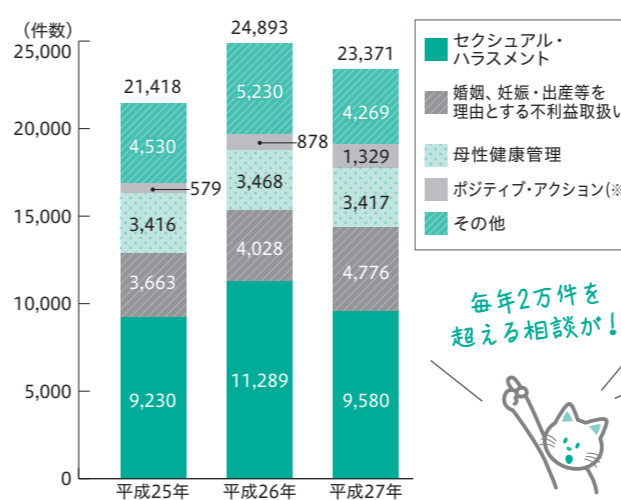
(資料：総務省「労働力調査(詳細集計)」平成9年のみ「労働力調査特別調査」
(※)15~24歳は、在学中を除く。平成9年はデータなし。

グラフ② 正規・非正規別の年収



(資料：総務省「労働力調査(詳細集計)」平成29年)

グラフ③ 男女雇用機会均等法に関する相談件数の推移(相談内容別)



(資料：内閣府男女共同参画局「平成29年版男女共同参画白書」
(※)ポジティブ・アクション：積極的に格差を改善するために行う取組。

女性の貧困問題支援事業の御案内



With You さいたまでは、シングルマザー等女性がわたしらしく生きるための3事業と困難を抱える女性の支援者を増やすための2事業を行います。

シングルマザー等への支援

1 女性のための生き方セミナー

離婚を迷う女性が必要な知識を学びます。

13時15分
▼
14時15分

- 6月23日(土) シングルマザーという生き方
- 7月21日(土) 離婚手続きを知ろう
- 8月25日(土) 知っておきたい離婚とお金のこと

2 グループ相談会「ママ・カフェ」

毎回テーマを決めて、ファシリテータのもと、共有する悩みを仲間と語り合います。

14時30分
▼
16時30分

対象: 自立、就業を目指すこれからシングルマザーになる方及びシングルマザー (小学校低学年までのお子様をお持ちの方)

- 6月23日(土) 家族とは シングルマザーとして生きるということ
- 7月21日(土) 離婚手続き 実際の体験から知る
- 8月25日(土) お金がないときのサバイバル術

3 しごと準備講座(全12回)

働きたいけど、一歩が踏み出せないという女性が、様々な講座を通して自分に合った働き方を見つけます。

第1期
6月下旬▶
第2期
9月下旬▶

導入▶からだほぐし▶パソコン操作体験3回▶おしごと体験3回▶就職応援フェア▶振りかえり▶女性キャリアセンター面談相談▶フォローアップ

1~3 申込み・問合せ先

埼玉県女性キャリアセンター

電話 048-601-5810

受付時間 9:30~17:30(月~土)
(年末年始、祝日、第3木曜日を除く)

女性の貧困問題の解消に向けた支援者の拡大

女性の貧困問題講演会(終了しました)

5月22日(火) 女性の貧困問題を考える

野依 智子 さん(福岡女子大学教授)

女性リーダー育成講座(10回連続講座)

女性が貧困に陥りやすい現在の社会の在り方を理解し、課題解決に向けた取組を進める支援者を育成します。(6月開講)

情報ライブラリー

「女性の貧困」について考える本



裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち



上間 陽子 著
(太田出版 2017年)

2012年から4年間をかけて沖縄の夜の街で、性暴力や虐待などを経験しながらも生きるために働いてきた少女たちへの聞き取りを続けた著者。懸命に働く少女たちの生き方に共感を持ち、伴走する。筆力に引き込まれて、解決策はどこにあるかと考えさせられる。

シングル女性の貧困

非正規職女性の仕事・暮らしと社会的支援



小杉 礼子、鈴木 晶子、野依 智子
横浜市男女共同参画推進協会 編著
(明石書店 2017年)

2015年に実施した調査を元にして、当事者からの聞き取り、専門家による分析、支援者の対談などから、非正規職女性への社会的支援に向けて編まれた本書。社会風潮や制度変革、具体的サポートなど非正規職女性への社会的支援を編み出す力としたい。

相談室より

ひとりで悩まないで…



仕事、子育て、親の介護など、悩みはたくさんあるのに身近に相談できる人がいない…。自分ひとりで解決していくしかないと思いつめ、悩みを抱えてしまう方が少なくありません。

With You さいたま相談室では、DV(ドメスティック・バイオレンス)、家族、生き方など、さまざまな悩みについて相談に応じています。あなたが、あなた自身を大切にするため、ぜひ御利用ください。

With You さいたま相談室電話相談

◆相談員が相談に応じます。(性別・性自認を問いません)

電話 048-600-3800

受付時間 10:00~20:30(月~土)
※年末年始、祝日、第3木曜日を除く

男性のための電話相談

◆男性の臨床心理士が相談に応じます。
(性別・性自認が男性の方に限ります)

電話 048-601-2175

受付時間 毎月第4日曜日 11:00~15:00



インターネット相談(24時間受付)

With You さいたま

検索

※上記の本は、With You さいたま情報ライブラリーにて、貸出しをしています。

仲間とともに、
未来へつなぐ

豊かな自然

～秩父メープルに魅せられて～

井原 愛子 IHARA AIKO
TAP&SAP 代表

いはら あいこ：埼玉県秩父市出身。起業家。「TAP&SAP(タップアンドサップ)」代表。大学卒業後、一度は秩父を離れて生活をしたが、秩父の木と人に魅了されUターン。国内初のシュガーハウス「MAPLE BASE(メープルベース)」をオープン。メープル事業のほか、「第3のみつ」といった地域資源を活かす商品開発や販売を行う。秩父の森のエコツアーも手がけ、秩父の魅力発信や情報発信に努めている。

離れて気づいた秩父の魅力

秩父で生まれ育った私にとって、身近に山や森がある生活は、当たり前のものでした。就職で秩父を離れ、改めて豊かな自然の魅力、秩父の良さを感じるようになりました。

大学を出て就職したのは外資系家具販売会社。仕事は充実し、チャレンジできる環境がありました。一方で、ずっと同じ会社で働き、ひとつの世界しか知らないということに、どこか「このままでいいの。もう少し違う世界を見たい。」という思いを持つようになりました。ちょうどそんな時、TVで見た秩父メープルを思い出し、NPO法人秩父百年の森主催のカエデの森をめぐるエコツアーに参加してみました。ここで、今まで気づかずにいた秩父の森の素晴らしさと、その森を大切に守る人々の活動や想いを知り、それが現在の私の活動につながっています。

秩父に自生するカエデの木から樹液を採取し、樹液やメープルシロップを使った商品を作る秩父メープルの取組。この画期的な取組は、広く知られておらず、また、若い担い手がいなことに危機感を持ちました。この取組を続けていくには、20～30年後を見据えた長期的な森づくりと、若い世代が活動を引き継ぎ、新しくお金を生み出す仕組みづくりが必要です。そこで、これまで会社で培ったマーケティングの手法を生かして私なりにできることをやってみようと思ったのです。そして、会社を辞めて秩父にUターン。新たなチャレンジを始めました。

*)シュガーハウス：メープルシロップを製造する小屋。「MAPLE BASE」では、本場カナダから製造機械を輸入。森の恵みを味わえるカフェやショップを併設し、五感で体験できる秩父のメープルブランドの発信拠点になっている。



人とつながり、持続可能な仕組みをつくる

森づくりやメープルなどの自然の恵みを生かした商品づくりを通し、多くの人たちとの出会いがありました。会社を辞め、後戻りできない覚悟で飛び込んだ私の想いに本気で応えてくれた人たちがいたからこそ、国内初のシュガーハウス(*)「MAPLE BASE(メープルベース)」の実現など、様々な事業が現実のものになりました。

先のことを考えると不安もあります。でも、私には同じ思いを持って活動する仲間がいます。仲間と一緒に取り組むことが、今の活動を続けるための大きな鍵だと感じています。そして、新しい仲間が一人でも増えると嬉しいし、一緒に関わって良かったと思ってもらえることが、私のモチベーションになっています。

これまで長く培われてきた活動を土台に、若い世代を巻き込み、仲間を増やし、カエデの森をビジネスとしても次世代に引き継ぐ仕組みを作っているのか。まだまだ多くの課題があり模索が続きます。そこに、私が少しでも役に立ちたい。

また、まだ知られていない秩父の自然の豊かさや森の恵みを多くの人に知ってもらうため、飲んだり、食べたり、体験したりできる商品やツアーなどのプロデュースにも力を入れたいと思っています。これらの取組は、ひとりの力ではできません。いろいろな人とのつながりや交流を大事に、着実な取組で地域に貢献していきたいです。

- 朝起きてまずすること…音楽を聞く
- 好きな食べ物 …野菜、豆、アイスクリーム
- リラックス・タイム …温泉、海外にいること
- 尊敬する人 …母
- 5年後の私 …森づくりや仲間が広がっている、海外とビジネスの交流を持っている



ミツバチに林檎ジュースなどを与えて生まれた第3のみつ、「秘密」。井原さんがプロデュースしている。

第14回

さいたま輝き荻野吟子賞 受賞候補者募集

埼玉県では、日本初の公認女性医師となった荻野吟子にちなみ、男女共同参画の推進に功績のあった個人や団体、事業所を表彰します。

① さわやかチャレンジ部門 (40才未満の個人)

県内在住(勤)または県出身で、各分野にチャレンジし、今後さらなる活動が期待できる40才未満の方。市町村、団体または県民による推薦。

② いきいき職場部門(事業所)

県内に所在し、男女が共同で参画することができる職場づくりに積極的に取り組んでいる事業所。市町村、団体、事業所、県民または各県地域振興センターによる推薦(自薦も可)。

●応募方法

所定の推薦書(県HP、県男女共同参画課、With Youさいたま、各県地域振興センター、事務所で入手)を、埼玉県男女共同参画課へ提出。

●応募期間

2018年8月1日(水)～9月28日(金)

●問合せ

埼玉県男女共同参画課
TEL 048-830-2921
FAX 048-830-4755

6/27水・7/4水・7/11水・7/25水・8/1水
8/15水・8/29水・11/28水

働きづらさ・生きづらさを抱えた女性のためのしごと準備講座(第1期)

▶13:30～15:30
※メニューによって変わります(詳しくはHPで) **女キャリ**

**7/20 県民のための医療セミナー
ダウン症候群の医療ケアセミナー**

▶13:30～16:30
大橋 博文(埼玉県立小児医療センター遺伝科科長)他

**7/25 性暴力防止セミナー
性暴力 その後を生きる
～深い傷と回復への道のり～**

▶14:00～15:30
中島 幸子(NPO法人レジリエンス代表)

**9/15 女性防災フォーラム
男女共同参画の視点から
地域防災を考える**

▶13:30～16:00
丹羽 麻子(国立女性教育会館事業課専門職員)

**10/13 県民のための医療セミナー
こどもの事故をなくそう**

▶14:00～16:00
埼玉県立小児医療センター医師

**10/20 若者ワールドカフェ
社会や政治のこ身近な人と
語り合っていますか?**

▶13:30～15:30
浅野富美枝(宮城学院女子大学大学院講師)

**11/14 県民の日イベント
親子で遊ぼう! With You さいたま**

▶10:00～16:00

**11/18 DV防止フォーラム
生きづらさを抱えた若年女性の
現状と支援の実際(仮)**

▶13:30～16:00
大谷 恭子(若草プロジェクト代表理事)他

11/20 障害と女性

▶いずれも13:30～15:30

6/23水・7/21水・8/25水・9/29水・10/27水
11/17水

**女性のための生き方セミナー
離婚を迷う女性対象**

▶いずれも13:15～14:15 **女キャリ**

6/23水・7/21水・8/25水・9/6水・9/29水・
10/27水・11/17水

**グループ相談会「ママ・カフェ」
これからシングルマザーになる方及び
シングルマザー(小学校低学年までの
お子様をお持ちの方)対象**

▶いずれも14:30～16:30 **女キャリ**

7/18水・8/22水・9/19水・10/10水・11/21水

**グループ相談会「おはなしカフェ」
働きづらさ、生きづらさに悩む
39歳以下の独身女性対象**

▶いずれも14:00～16:00 **女キャリ**

毎月2回 第2・4木曜日

**さいがい・つながりカフェ
県内に避難されている方の交流会**

▶11:00～15:00(詳しくはHPで)

公募型共催事業

※県内で活動する団体の支援事業です。各講座とも
有料となります。申込みは各団体で受け付けてい
ます。詳しくはホームページでご確認ください。

7/8(日) 13:30～15:30

アンコンシャス・バイアスを知っていますか
(一社)プティバ

7/28(土) 13:30～15:30

はたらくらぶW 知ろう、語ろう帝王切開
(一社)さいたまキャリア教育センター

9/2(日) 13:30～15:30

夫婦・しごとが上手にいく人の
かんたんコミュニケーション術「1メッセージ」
オハナベストパートナーさいたま

9/9(日) 10:00～12:00

早いが肝心!学習習慣の仕組みづくり
ライフオーガナイザーの会さいたま

9/17(月) 10:00～12:00

「今ここ」ありのままの私でコミュニケーション!
All Alive Project埼玉

9/30(日) 13:30～15:30

子ども・若者ケアラーについて
(一社)プティバ

10/11(木) 10:00～12:00

女性のための美骨盤エクササイズ
NPO法人美えな塾

10/14(日) 13:30～15:30

びーらぶプログラムを体験してみよう
「いろいろな気持ち」
NPO法人パープルネットさいたま

①10/19(金) 10:00～17:00

②10/26(金) 13:30～15:30(連続2回)

キャリアコンサルタントが教える
「光る応募書類の書き方と面接対策」講座
NPO法人生涯学習コーディネイト協会

10/21(日) 13:30～15:30

いのちのことは
～周産期をめぐる「当事者<体験>」～
(一社)プティバ

10/25(木) 10:00～12:00

家計簿が続かない人のための家計管理術
ライフオーガナイザーの会さいたま

10/27(土) 13:30～15:30

はたらくらぶW いまさら聞けない月経の話
(一社)さいたまキャリア教育センター

10/28(日) 13:30～15:30

たたかない どころな子育てのヒント
(一社)プティバ

**①11/7(水) ②11/21(水) ③11/28(水)
13:30～15:30(連続3回)**

DV被害者をささえる支援者になろう
NPO法人パープルネットさいたま

11/8(木) 13:30～15:30

かんたんPCデータ整理&実践ワークショップ
ライフオーガナイザーの会さいたま

11/19(月) 10:00～12:00

人生を変えるメイク術セミナー
(一社)日本セルフプロデュースメイク協会

11/29(木) 10:00～12:00

知財ははじめの一步
埼玉応援隊女性弁理士パル会

◇ 講座の申込み方法

市町村、男女共同参画関連施設、図書館、公的施設な
どに開催日の約1か月前からチラシが配布される他、
With Youさいたまホームページにも掲載します。電話
やメールでの問合せも受け付けています。

◇ 保育サービスを実施しています

With Youさいたまでは、講座・講演会に参加される
方を対象に保育サービスを実施しています。

▶6か月以上の未就学児対象

▶先着15名 ▶実費300円

講座申込み時に、名前と年齢をお知らせください。

**With You さいたま
埼玉県男女共同参画推進センター**

〒330-0081 さいたま市中央区新都心2-2

TEL 048-601-3111

FAX 048-600-3802

URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/>

◇ 開館時間

月曜～土曜 / 9:30～21:00

日曜・祝日 / 9:30～17:30

休館日/年末年始、第3木曜日

◇ 貸出施設のご利用時間

午前 / 9:30～12:00

午後 / 13:00～17:00

夜間 / 18:00～21:00

※利用時間には、準備及び後片づけの時間も含まれます。



▲携帯サイトでも
利用案内を発信
しています

With You さいたま相談室

●電話相談 TEL 048-600-3800

●受付時間 月曜～土曜 / 10:00～20:30

(年末年始、祝日、第3木曜日を除く)

埼玉県女性キャリアセンター

◇ 電話・面談相談・講座受付

●電話相談 TEL 048-601-1023

●受付時間 月曜～金曜 / 10:00～11:30

12:30～16:30

●面談相談予約 TEL 048-601-5810

●女キャリ 講座受付

●受付時間 月曜～土曜 / 9:30～17:30

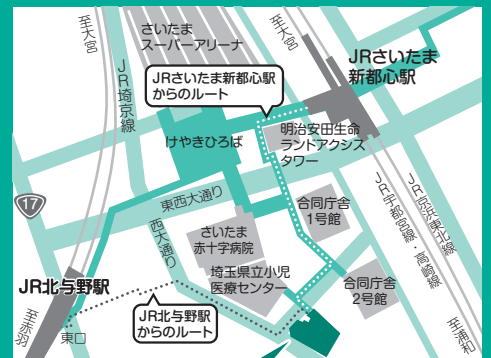
(年末年始、祝日、第3木曜日を除く)

◇ ハローワーク求人情報の提供

●求人情報の検索 月曜～土曜 / 9:30～17:30

●求人情報の紹介状発行

月曜～土曜 / 10:00～17:00



With You さいたま

埼玉県マスコット
「コトナン」 「さいたまっちゃん」
ホテルプリランテ武蔵野3・4F
さいたま新都心駅から徒歩5分
北与野駅から徒歩6分

